

会 議 録

会 議 名	第 2 3 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 1 8 回		
事 務 局	公民館東分館		
開 催 日 時	1 月 5 日 (火) 午 前 1 0 時 ~ 1 2 時		
開 催 場 所	公民館東分館 集会室 A ・ B		
出 席 委 員	浅賀委員 石原委員 嵯峨山委員 栃木委員 中島委員		
欠 席 委 員			
事 務 局 員	鈴木分館長 星副分館長 杉山		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	1 名
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 報告事項 (1) 平成 2 7 年度小金井市公民館三者合同研修会について</p> <p>2 審議事項 (1) 事業の報告及び計画について ① 少年教育事業「ひがし子ども囲碁教室」 ② 成人学校「エコらく生活」 ③ 市民講座「わがまち歴史散歩 パート 3」 ④ 成人学校「鉄道の歴史を語る」 ⑤ 高齢者学級「くりのみ学級」 ⑥ 新年度の計画 (案) について</p> <p>(2) その他 ① 次回日程および今後の諸日程について</p>		

会 議 結 果

(要点筆記)

〔司会〕嵯峨山委員

司 会 第23期第18回小金井市公民館東分館企画実行委員の会議を開催します。

1 報告事項

(1) 平成27年度小金井市公民館三者合同研修会について

鈴木分館長

日程は平成28年2月2日火曜日、時間は午後2時から4時までです。場所は公民館本館学習室A・B、テーマは「(仮称) 公民館の将来像～東京の公民館の動向と今日的課題」です。

2 審議事項

(1) 事業の報告及び計画について

① 少年教育事業「ひがし子ども囲碁教室」

杉山(職員)

12月の出席者は15人前後でした。12月26日まで開講し、新年は1月9日からスタートします。年間通してほとんどお休みなく活動されています。

② 成人学校「エコらく生活」

杉山(職員)

12月初旬に2回目を終了いたしました。生活に密着した講座でした。特に収納については、年間を通して話題となっておりますので、受講者のみなさまには喜ばれた印象がありました。

嵯峨山委員

お掃除については年末が近かったのでタイムリーな内容でした。終活については、我々の年代になると、自分の人生を振り返る良いきっかけになったと感じました。

栃木委員

私はあれから引き出しの整理をいたしました。結構楽しんでやりました。

石原委員

生前整理と収納の講座では、「捨てる」ということがすごく前向きなことだと感じさせられました。やらなきゃいけないと思いながら捨てられない、そのからくりをよく説明されていたので、すごく分かりやすかったです。具体的な内容が多く、良い講座だと思いました。

杉山(職員)

参加者の感想をお配りしておりますので、後で目を通してください。

③ 市民講座「わがまち歴史散歩 パート3」

杉山(職員)

12月12日に3回目の講座を終了いたしました。3回目はとても貴重なお寺を2軒回り、住職さんのお話を伺いました。講師と嵯峨山委員には本当にたくさんのお心配りをいただきました。感謝しております。本当にありがとうございます。

いました。1月9日に4回目の講座を行います。昨日講師の織壁様にご来館いただき、最終的な打ち合わせやプロジェクターで使う資料の確認を行いました。4回目で最後になります。武蔵小金井駅北口、タクシー乗り場に10時集合です。学食は使用できないことになりましたので、お弁当持ちです。情報通信機構には入りません。よろしく願いいたします。

中島委員

3回目ですが、真蔵院と長昌寺に行きました。梶野新田のお寺と関野新田のお寺に行け、普段はなかなか入らない中にも入り、ご住職のお話も聞けて良かったですね。昔の写真なんかも見せていただいて、参加された方にも喜んでいただけたかと思えます。

嵯峨山委員

真蔵院の孤島住職からは、昔の地域の生活について詳しく、お話していただいて良かったですね。お花見の時には小金井桜を見てお団子を食べていたそうですね。住職さんなのでそういった暮らしの話が出てきて良かったです。

杉山（職員）

地元の地域密着の話は、このまま継続していければいいですね。

嵯峨山委員

なかなか伝承できる人が少ないので、伝承者を育て上げるのも一つの方法かもしれないですね。また次年度は人物、例えば小金井小次郎や川崎平右衛門、文学者大岡昇平に注目して、切り口を変えながら取り上げるのも面白いかなと思います。

石原委員

今まで小金井の色々なところに行きましたが、今度は人物を掘り下げるのがいいかなと思います。前回の会議でも取り上げられた小金井小次郎については、ただの博打打ちと思われることがあります。具体的に何をした人なのか、年配の人しか知らず、小金井市民なのに答えられない人も多い。また、小金井は三宅島と友好関係を持っていますが、なぜ三宅島と友好関係があるのか。そういったことを話せる人が少なくなっているのではと思います。もう少し人物を掘り下げられたらと思います。小金井小次郎は幕末の勝海舟などを動かしたと言われる山岡鉄舟ともつながりがあります。西念寺の牌は山岡鉄舟の字と言われています。それから小金井神社の狛犬を寄進したのは小金井小次郎なんですよね。いろんなところへお話を聞いて歩いて巡ってもいいかなと思います。

嵯峨山委員

講師二人も一緒だったんですが、友好協会の主催で三宅島へ行きました。小金井小次郎の井戸へ行きました。三宅島は水がとても大切なんですよね。井戸というよりプールのようなようでした。船で実家からかなりの量の石膏を持ってきたようです。

石原委員

炭を作ることを教えたり、井戸を掘ったり、三宅島でも親分になり人を動かしたそうですね。資材が足りないと、舎弟や、国定忠治なんかからの助けも借りて、色々送ってもらったそうです。ただの博打打ちではないですよ。幕末と

明治初期の活躍がすごいので、当時の激動期と絡めながら話すのも面白いと思います。赦免されて戻ってきた後、3000人近い子分たちがしっかりと守っていたそうです。どういう風に受け止めるかは別にして、こういう人がいたんだということを説明して、だから小金井小次郎は有名なんだと捉えられたらいいなと思います。

杉山（職員）

人物を取り上げることになったら、織壁様はかなり資料をお持ちでしょうか。

嵯峨山委員

かなり勉強されています。また講師を引っ張るなら郷土の森の学芸員さんもうらっしゃいます。川崎平右衛門は今年が記念の年なのでそちらもいいかなと思います。

中島委員

大岡昇平の武蔵野夫人でも、野川が出てくるので、その辺の話を講座に活かしていくこともいいですね。

④ 成人学校「鉄道の歴史を語る」

星副分館長

1月4日より申込みが始まりまして、18名の応募がありました。60代、70代、80代の男性が多い中、50代の女性もいらっしゃいます。また1月28日のみ分館長の鈴木が対応します。また、先生との打ち合わせ状況ですが、配布資料はすでに準備できています。また、プロジェクターの確認も済ませました。申込みで30人まであと少しですので、出来れば満席になってほしいなと思います。お電話でお申込みくださった皆さんはとても楽しみになさっていました。

中島委員

鉄道の講座は東分館では初めてですので、ちょっとどのくらい来られるか分からなかったですが、初日でそのくらい来て良かったですね。

浅賀委員

鉄道の関係はこの図書館の方が過去に単発でやっていました。あの時は休みの日だったので、結構子どもも来ていました。その時も年配の方も来ていました。

星副分館長

2016年が日本の新輸送、新しい交通の元年になるだろうと言われていて、リニア新幹線と北海道新幹線、九州から北海道まですべてつながりますので、高度成長期ではないですが、それに匹敵するくらいの交通元年と言われていているらしいんですね。そんなニュースを聞いていたら、時期的にはとてもいいものじゃないかなと思います。

⑤ 高齢者学級「くりのみ学級」

鈴木分館長

今回くりのみ学級の受講者は40名、男性が12名、女性が28名でした。述

べ参加者数は649名で、参加率が81%でした。昨年度が78%でしたので、3%アップし、参加率が高くなりました。また参加者の平均年齢が73.5歳となり、昨年度74.6歳でしたので、1歳ほど若返りました。町内別ですと、東町が29名と多く、地域に根差した高齢者学級になっているなど感じました。また今年は途中からNPOへ運営が変わったこともあり、皆さんにはたくさんのご協力をいただきまして、本当にありがとうございます。反省会は参加者から何点か指摘事項がありました。まず内容について、第五回「お隣の国・韓国・中国とどうつきあうか」について、先生の個人的な思想があったと、厳しいお声をいくつかいただきました。

浅賀委員

一人の人がそう感じただけで、最大多数の人がそう思われているように誤解されてしまうこともあります。だから、講師選びも最初からフィルターにかけてしまうと、全く面白くなってしまいます。

栃木委員

介護保険はちょっと分からなかったですね。

石原委員

すごく無責任な言葉しか返ってこなかったですね。

中島委員

参加者は個人的なことを聞くので、答えにくかったのかもしれないですね。

杉山（職員）

介護保険が改正された後の講座だったので、改正された部分がなかなか分かりにくかったのかもしれないですね。参加者の方は、とってもいい講座を聞いた後、ホールで輪になっていろんな話をされています。また、そうではない場合も、ホールで輪になることがあります。介護保険の場合も輪になっていて、事務所で見ていてどっちだったのだろうと思ったら、不満の声が多かったですね。

鈴木分館長

野外研修についてもご意見をいただきました。もう少しゆっくり見たかったという方、また歩く距離が長かったので事故が無くて良かったという方がいらっしゃいました。参加者の年齢差が激しいので、このあたりは今後も課題になってくるかなと思います。また講座内容については、講義形式ではなく対話形式、グループワークをしたかったというお声もいただきました。料理の際に班別の行動をしていますが、班の方以外の方とも交流したかったとのこと。また班によっては、メンバーの参加率が悪い班もあって、そのあたり今後工夫が必要かなと思いました。

中島委員

班で何かやるという機会も少なかったですし、他の班と交流するという点については今後工夫できる点かもしれないですね。

嵯峨山委員

今回男性が12名参加というのは割と多く、良い傾向だったと思います。またアンケートの集計で、皇居・警視庁が1位だったのは意外でした。結構きつか

ったと思います。それと、さきほどの思想的なものについて。ご自身の意見をはっきり述べたT P Pの講師は人気が高かった。だから話し方なんですよ。やっぱり話の内容を納得させるような形で議事進行が進んだのが良かったのだと思います。

石原委員

T P Pの話のときはアメリカ側からの話だったので、今度は中国側からの話を聞いてみたいですね。また、これから先の話も興味深いですね。

嵯峨山委員

今回みんなで料理が、全然人気がなかったですね。これはちょっと考えた方がいいですね。特に汁もの時は、男性が全く参加していなかった。調理する場所がとれなかったこともあります。男性も女性も同じように調理して食べることが目的なので、ベンチで待っているというのはちょっと…。これは反省しなければならいかなと思います。

鈴木分館長

参加者の男性からも、料理は参加しにくかったとのお声をいただきました。ただ、その代わりに、もしバーベキューがあったら参加しやすいのにな、とのご意見もいただきました。

石原委員

今回はお酒の持ち込みはよかったですでしょうか。

鈴木分館長

今回はなしにしておりました。

嵯峨山委員

おやじ塾の時は、お酒の持ち込みはOKにしていました。

石原委員

クリスマスの時期に、おつまみみたいなものでありながらおなかも膨れ、ワインも飲めるので結構盛り上がりましたよね。こちらもそういった工夫が必要かなと思います。

中島委員

調理室も40人でやるのは物理的に不可能なので、そこから考えてやらないといけなかなと思います。

嵯峨山委員

自己主張の激しいのも考えないといけないですね。

栃木委員

自分の家のルールを持ち出すのも、大勢で食べるときは、自分の家を出してきちゃだめですよ。

石原委員

あとテーブルに座ると、他の班のを食べに行きづらいですよ。

嵯峨山委員

やっぱりそれぞれ交流するよう、お声掛けしましょう。こちらから誘導しないとかなか行けなかもしれないですね。

栃木委員

自分だけ話を切って移動はしづらいですよね。

石原委員

ただ食べるのではなく、交流しましょうと。目的はそちらの方ですもんね。

鈴木分館長

来年度ですが、今回トップ3に入った、落語、江戸しぐさ、笑いヨガは来年も継続で、残り有料講師枠は7になります。今回の反省会で聞いてみたい講座についてアンケートを取りましたが、国際情勢、特に中東の話を知りたいというご意見がありました。あとは、市の財政状況について、生活に密着した内容を聞きたいというご意見でした。また、高齢者学級なので、認知症の話、老後の健康対策など高齢者ならではの講座を知りたいというご意見が多かったですね。

石原委員

ここに取り上げられている結城座を取り上げてほしいと思います。結城座は最初は浅草の方にあったのですが、小金井桜を気に入った先代の方たちが小金井に引っ越してきて、小金井に座を作ったそうです。今の座長さんが、気楽に地域の人に来てくれるような座を作りたいと言って、400年続く伝統的なあやつり人形をやられています。小金井に来ているのもご縁ですので、取り上げていただければなと思っています。

中島委員

講師料がいくらくらいですかね。

杉山（職員）

今年本館でやっていました。

中島委員

ぜひ、聞いてみてください。

嵯峨山委員

市の財政状況について、今年の講師は自分で指標を見ながら自分でひも解いていくような説明の方でした。一方で、参加者はただ聞くだけの方もいる。聞く人によって、受け取り方がかなり違いますよね。

中島委員

今回の講師は一般論をお話しくださり、それを聞いて考えるのが市民という感じでしたね。また、以前に同じ講師でやった講座から自主サークルも生まれています。その会の方に講師をお願いしてもいいのかなと思いますが、その会の意見が出てきてしまうので、そういうのが公民館の講座としていいのかどうかという問題があります。

杉山（職員）

過去に財政講座に参加されたメンバーは錚々たるメンバーで、市長選に立候補した人や市議になられた方もいらっしゃいます。なので、難しい気がします。

嵯峨山委員

市報を見てどういう意味があるのかを考えてもらうのが、今回の講師の考え方なんですよね。ただ聞きたいという人とは全然違う。市報を読まない人、そういう人が分かる程度のお話をしてほしいというご意見だったと思うのですが、それとはちょっと違うのではないかと思います。

中島委員

公民館の講座としては、今回の講師のような話をやっていけばいいのではと個人的には思います。

石原委員

この話を聞かなければ、ただ市報を見て、この話は知らない、分からないと見向きもしない所を、ここを見ればいいんだと、見るようになり考えるようになりました。

⑥ 新年度の計画（案）について

鈴木分館長

予算次第になりますので、あくまで案として考えていきましょう。今までどおり皆さんに自由にご意見をいただいて、企画を考えていければと思います。まず継続事業としては、「ニュース映画に見る昭和史パート3」を全6回講座として継続させていただければと思います。また中島委員より企画書をいただきました、「東京の名城を知る」の継続講座、こちらも人気がありましたので、継続させていただければと思います。

中島委員

これに関しては、問題点は交通手段だと思います。

鈴木分館長

予算次第ですので、予算が確定した段階で行先等調整できればと思います。

中島委員

東京だけでやるか、膨らまして群馬県の金山城や神奈川県の小田原城などまで出かけるか。八巻先生が講座としてやれるかというのもあると思うので、歴史的な背景を説明していただいて、石垣の実際の城づくり等も合わせて勉強できれば面白いかなと思います。あと、近くにある深大寺城や石神井城。あれだけで、一つの講座として成り立つのか、それもちょっと知りたいと思います。忍城なんかも映画の舞台になったこともあるので、みんな興味をもってもらえるかなと思います。

石原委員

北条の絡みで行くのか、八王子がやられて小田原に行く絡みで行くのか。それかこの近辺で行くのか。それは絞らないといけないと思います。

嵯峨山委員

他の館ではやっていないですし、東は歴史の講座を代々続けてきているので、これはやった方がいいかなと思います。それと、今までお城とは天守閣のあるものと想像されますが、実際はそれだけではないということを知っていただけたらなと思います。

浅賀委員

邑楽町についてはどうですか。

杉山（職員）

そば打ちとしてこちらに来ていただくのはどうかなと思っています。邑楽町との関係は継続できればと思います。過去にこちらの市長と向こうの町長が意気投合して、盛り上がった時期がありました。東分館としてお世話になり、向こ

うへ行った際に町をあげて歓迎してくださいました。町長さん自らお出迎えしてくださいました。また、当時は、大きな災害があった時に、東町だけでも預かれるからおっしゃってくださったこともありました。向こうの講師には何度もこちらに来ていただいて、そば打ちの講師をしていただいています。ぜひ、継承していければと思います。

(2) その他

① 次回日程および今後の諸日程について

鈴木分館長

次回の企画実行委員会は2月2日火曜日、10時からになります。午後2時から三者合同研修会です。また3月1日の午後2時から消防訓練を実施しますので、ぜひご参加ください。よろしくお願いたします。